

## お茶の郷の小学生に海外の視点を

### 和東町の小学5年生が JICA 海外協力隊経験者と共に学習

JICA 関西は、10月14日（金）の午後、京都府相楽郡・和東町にある和東小学校に開発途上国（ボリビア・キルギス・ウガンダ・サモア）で活動をした JICA 海外協力隊経験者 4 人（詳細 2 ページ目）を講師として派遣し、5 年生向けに途上国の食文化やお米の食べ方などを紹介する授業を行います。

和東小学校では、「総合学習」において各学年でテーマを設定しており、今年度のテーマは3年生「お茶」、4年生「自然と環境」、5年生「お米」、そして6年生「自分探しの旅」となっています。

総合学習は3年生から実施されていますが、今回は「学校外の多様な大人と継続的に関わることを通して、いろいろな生き方を知ってほしい」という和東小学校の先生方の希望から、「お米」について学習を進めている5年生を対象に、「海外（途上国）の食生活」をテーマにした授業を行う予定です。

講師の4人はそれぞれの派遣国で、1～2年間生活をしながら、それぞれの専門分野で活動をした経験があり、今回の学習では途上国の実情を伝え、それによって子ども達の視野を広げることを目標にしています。

- 児童や教員へのインタビューも可能です。
- 5.6時間目を使って2部構成の授業を行います。（詳細は以下をご確認ください。）

【日時】 2022年10月14日（金）14：00～15：35

【場所】 和東小学校 1階 ホール（写真2枚：ページ下部）

住所：619-1201・京都府相楽郡和東町園神定57

電話：0774-78-2072・FAX 0774-78-2955



**【授業内容】**

5 時間目 (14 : 00~14 : 45) ●和東小学校 1階 ホール にて

★4名の講師が同時に登壇し、教室でのパネルディスカッション形式 (パワーポイント・写真などを投影)

★ファシリテーター (JICA 京都デスク) が「途上国の食文化やお米をどのように消費しているのか」などのテーマで講師4人に質問し、話を聞きだしていくスタイル。

6 時間目 (14 : 50~15 : 35) ●和東小学校 1階 ホール にて

★講師ごとに4つのブースを設置。

★児童がグループで質問しに行くことができる形式とし、それぞれボリビア・キルギス・ウガンダ・サモアの様子について疑問に思うことを自由に探る。

**【講師について】**

- ・松本恵里佳さん：プレシャス・プラスチック京都 代表  
(元 JICA 海外協力隊・ボリビア派遣・派遣時職種：環境教育)
- ・広中歩さん：京エコロジーセンター職員  
(元 JICA 海外協力隊・キルギス派遣・派遣時職種：環境教育)
- ・中川陽平さん：NGO 団体 HOUSE OF HOPE 代表  
(元 JICA 海外協力隊・ウガンダ派遣・派遣時職種：体育)
- ・江草正基さん：和東小学校 理科専科教諭  
(元 JICA 海外協力隊・サモア派遣・派遣時職種：理数科教育)

**【取材の申込】**

ご希望の場合は、10月13日正午までに以下の申込先までご連絡をお願いします。

**【本件に関する問い合わせ先】【申込先】**

JICA 京都デスク 畑中遥

TEL : 080-8506-3714 (平日 9 : 00~18 : 00)

E-mail : jicadpd-desk-kyotofu@jica.go.jp